

平成23年度 第15回「教育研究論文・教育実践賞」審査結果一覧

応募総数 217 篇 (個人の部 140 篇 / グループの部 77 篇)

個人の部 (特選 2 入選 4 佳作 15 応募数 140)

特選

教育会	学校名/氏名	タイトル
佐久	南牧北小学校 新海弘文	『農家の朝に“ぴったり朝食”』 …学校から地域へ、健康を発信しよう…
上伊那	川島小学校 北條由美	「かえるさんってすごい！」

入選

教育会	学校名/氏名	タイトル
諏訪	富士見小学校 宮坂文子	ジョリー(3・11被災地より避難してきたポニー)飼育における学習活動の可能性について ～他教科との関連を模索して～
木曽	福島中学校 丸山美恵	『『自問』で育てる生徒の自主性・主体性 ～グランドデザインと連携し全教育活動における自問の力の具現化へ～』
中野下高井	科野小学校 成田浩和	「りんごを作りたい」から「りんごを届けたい」へ 子どもたちとりんごが紡ぐもの ～総合的な学習の時間～
松本	芝沢小学校 三輪千子	ボビングとけのびの学び直しとクロール泳の達成度

佳作

教育会	学校名/氏名	タイトル
上小	北御牧小学校 笠原幸子	教師自作オペレッタの教材としての価値の検証 ～オペレッタ『ピコピコ星人やってきた』2年生による実践を通して～
上小	上田・東小学校 三浦江梨	『一人一人の子どもたちが自分でやりたいと思ったことを伸び伸びとやる姿を見てみたいと願って』
上小	塩田中学校 林理恵	「学校を変えたい」～生徒会活動から、学校を動かそう～
諏訪	茅野・北部中学校 両角太	「命どう宝」～自分の命を見つめる～
上伊那	伊那東小学校 原 郁雄	「開発教育・国際理解教育の体験的学習で子ども達の態度・意欲・価値観の変容を試みる」
上伊那	東春近小学校 北澤夏樹	自分たちの願いを具現化し、その活動を通して「ひと」「もの」「こと」への関わりを深めていった子どもたち ～カヌーとパドルの製作とカヌー遊びを通して～
上伊那	飯島中学校 横田茂樹	中学生の私たちにできることで飯島町の活性化を ～広報誌「飯島ちよっとcom」の発行を通して地域との関わりを深めた生徒たち～
下伊那	松川東小学校 渡邊瑞枝	楽しみながら、継続できる活動を通して健康づくりを行うための働きかけはどうあったらよいか。～児童・職員・保護者が一緒に取り組む活動を行って～
塩筑	広丘小学校 富田章	「地域と共に歩む総合的な学習の時間」 ～短歌の里に育つ子どもたち～
安曇野	豊科南小学校 矢野司	教師主導ではなく、子ども達が主体的に取り組む総合的な学習の時間のあり方 ～「百石堰にかかる橋の修繕活動」を通して～
北安	松川中学校 小穴智彦	「運動に魅力を感じ、自ら運動を実践していく力を育てていく体育学習の在り方」 ～マット運動における“対話”と『楽しさの深まり』に視点をあてて～

更埴	南条小学校 市川厚	「見とどけ」で何を見るのか？ ～ノート指導による子ども理解を目指して～
更埴	埴生中学校 溝口俊一	「社会的事象を自己に引き寄せる社会科学習」
長水	古牧小学校 中沢英明	心を耕すことができる総合的な学習の時間をめざして 「東日本大震災～今、自分ができること～」
長水	長野・東部中学校 勝野学	数学図形領域において、自分の考えを順序よく根拠をもって説明していく指導のあり方 ～諸検査の結果分析を活かした3年間の指導改善～

グループの部 (特選 2 入選 2 佳作 9 応募数 77)

特選

教育会	学校名/グループ名	タイトル
上伊那	南箕輪小学校/特別 支援教育研究部会	「通常の学級における特別支援を必要とする子どもへの支援のあり方」 ～その子も育ち学級も育つ、どの子にもわかる授業づくりをめざして～
北安	松川中学校 松川中学学習指導部	「生きること」「学ぶこと」を統合するカリキュラム開発

入選

教育会	学校名/グループ名	タイトル
諏訪	岡谷小学校 研究グループ	子どもと共に創る授業を目指した日々の授業改善
中野下高井	高社中学校 特別支援研究グループ	特別支援学級に在籍するYさんの人とのかわりを広げていく支援はどうあったらよいか

佳作

教育会	学校名/グループ名	タイトル
上小	青木小学校 学力向上委員会	「つなげる」をキーワードにした学力向上への歩み —算数的表現力の育成を窓口に—
諏訪	花田養護学校 小学部秋グループ	「自分の力を生かし、友達と一体感をもって取り組める体育の授業のあり方」 ～肢体不自由養護学校の体育授業における教具やルール・場の工夫～
上伊那	飯島小学校 田中順子・原勝人	「表現する力を伸ばし育む図画工作科『造形遊び』の指導と評価 ～題材と向かい合ってみえてきた子どもの姿を視点に～」
下伊那	松川中学校 特別支援教育教科会	特別な支援が必要な子どもの主体的な学びを支える指導はどうあったらよいか ～「個別指導計画」に基づいた特別支援学級と原級との連携を通して～
更埴	八幡小学校 外国語研究グループ	どの子も進んで外国語に親しみ、楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる外国語活動はどうあったらよいか。～思わずやってみたくなる授業を目指して～
更埴	坂城中学校 英語科	「相手意識を持って英語で伝え合おうとする態度を育てる指導のあり方を求めて」
上高井	小山小学校 算数科研究グループ	互いに考えを表現し合いながら、数学的思考を深めていく算数指導のありかた ～自分の考えの根拠を明らかにし、表現できる子をめざして～
長水	長野盲学校 幼小研究グループ	「視覚障害のある児童の環境の認知能力を向上させるための支援はどうあったらよいか」
松本	筑摩野中学校 研究推進部	「大規模中学校における学力向上への取り組み ～家庭学習向上プロジェクト「レッツトライ」を通して～」